

(第2号様式)

名護第2346号
令和6年3月18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立名護高等学校・附属桜中学校
校長 遠越 学
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月20日(木) 17:30~19:30	場所	本校管理棟小会議室2	出席 状況	全員出席(4名)
第2回	日時	令和5年12月21日(木) 17:30~19:30	場所	本校管理棟小会議室2	出席 状況	1名欠席(3名)
第3回	日時	令和6年3月14日(木) 17:30~19:30	場所	本校管理棟小会議室2	出席 状況	全員出席(4名)

2 学校評議員に求めた事項

①学校経営方針や教育活動への理解と協力 ②保護者や地域住民等の意向把握 ③地域への情報発信 ④学籍・勤怠状況・成績状況・進路状況等の把握と理解 ⑤学校行事、各学年の取組、生徒指導等に関する助言及び協力
--

3 学校評議員の意見

・桜中学校の学習環境が気になる。プレハブだと暑さが厳しいのでは。 ・中高連携の取組について具体的に固まってきたら報告をしてほしい(部活動のあり方等)。 ・(評議員の)息子が学校がとても楽しいと話している。先生方が非常に頑張っているのを感じている。 ・ゼロ校時ではなく、時間内で最大限の成果をあげるように考えた方がいい。職員・保護者の負担が大きい。 ・部活動の加入率が気になる。興味がある部活があれば入るので、子どもたちを伸ばすために利用できないか。 ・体育祭で高校生と中学生が一緒に演技をしているのが印象的だった。こういう形で中高一貫の交流の機会があつてうまくいっていると感じた。 ・進路未決定者への対応について、子どもたちの進路実現に向かって是非お願いしたい。 ・早朝講座を実施するのであれば、教科を選択できるようにした方がいい。自発的に教え合いをしている生徒もいるのでそういう講座もあつていいのでは。

4 学校運営に反映した事項

・フロンティア科においては、進路実現に向けて学習支援を更に充実させるため希望制の早朝講座を2学期より開始した。数学、英語、公民の3教科で選択して受講できるようにしており、多数の生徒たちが受講している。 ・中高連携については、中学校、高校それぞれの授業で乗り入れを行い、中高一貫校としての特色の強化を図っている。 ・推戴式や学校紹介等で各部がアピールする場を設け、部活動に興味を持つような取組をしている。

5 課題その他

・新たに中高一貫教育の担当を校務分掌に位置づけ、中学校と高校の連携についてさらなる充実を図る。 ・フロンティア科を中心に、早朝講座を始めとした学力向上への取組の充実を図る。 ・業務の効率化等で超過勤務時間を減少させ、職員の働き方改革をさらに推し進める。 ・Classiを利用することで、保護者への情報発信を充実させる。
--